

2012年7月期 決算説明会

包装システムの市場創造型トータルプランナー

ゼネラルパッカー株式会社



証券コード: 6267

目次

I . 事業環境

II . 2012年7月期決算概況

III . 中期経営計画ならびに

2013年7月期業績見通し

IV . 経営戦略の主な取組み状況

V . 参考資料

事業環境

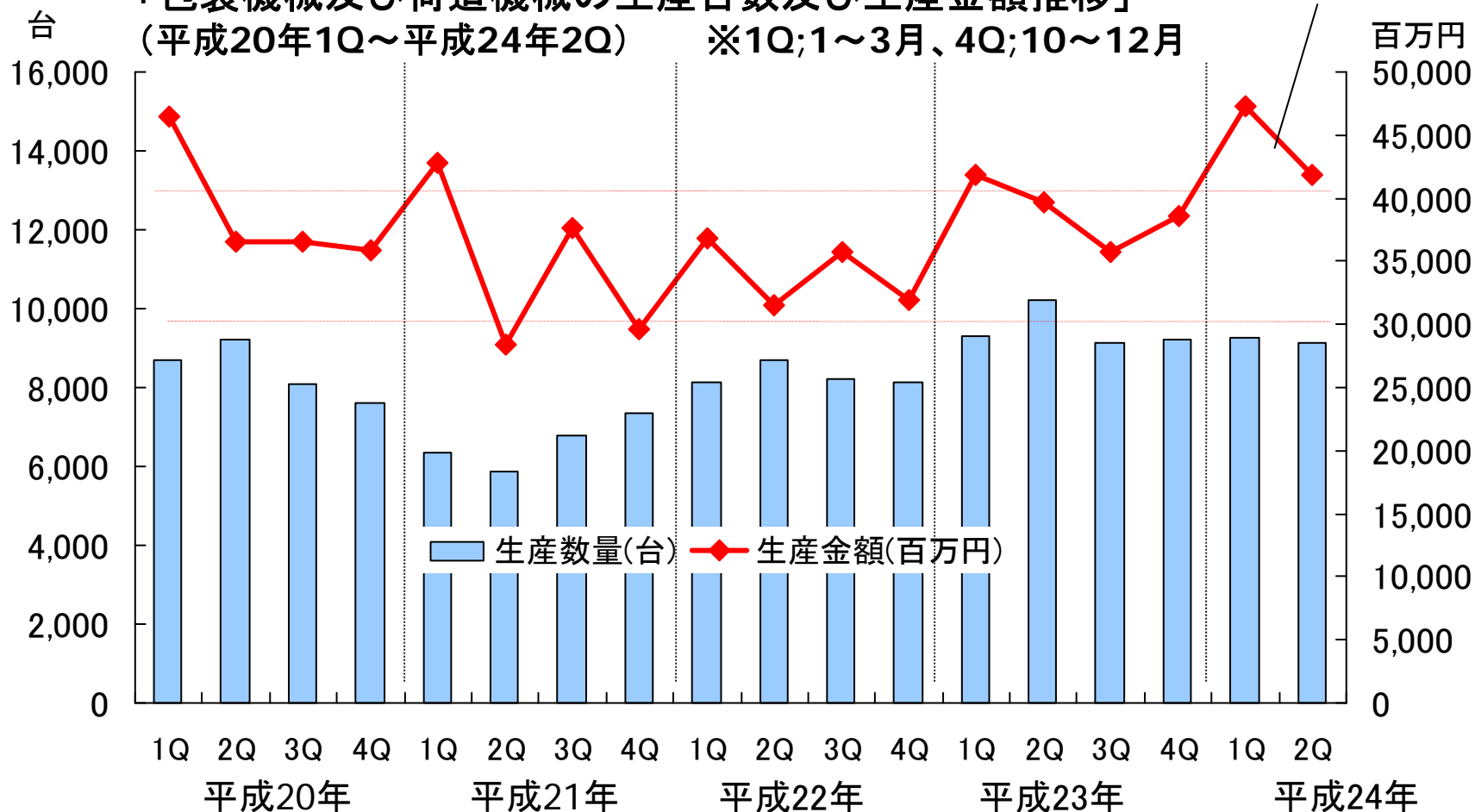
- ・生産金額は回復傾向が続く
- ・生産台数は横ばいで推移

平成24年上半期計
生産金額
前年同期比9.5%増
生産台数
前年同期比5.8%減

経産省 機械統計確報

「包装機械及び荷造機械の生産台数及び生産金額推移」

(平成20年1Q～平成24年2Q) ※1Q;1～3月、4Q;10～12月



事業環境と現状認識

<包装機械業界>

- 主要ユーザーの食品業界の設備投資需要は堅調に推移
アジアの新興国需要は増加傾向
- 平成23年度(H23.4～H24.3)輸出高は、378億円(前年度比 47億円増)となり、過去最高を記録
- 業界全体の平成23年度の生産高は、4,000億円(前年度は3,801億円)を大きく超える見通し
※(社)日本包装機械工業会 生産高統計
- 業界の景況は、好転してきている

<当社の動向>

- 次期売上予定の受注が好調に推移し、大型案件の受注実績が増加したことから、機械受注高は、前期を大幅に上回る。機械受注残高も高水準。
一方、時間と労力がかかる開発案件や大型案件が集中した影響もあり、今期売上分の受注が低迷。
- 下期の国内需要が想定より大きく落ち込む ⇒ 売上の下方修正が発生
 - ・高度なニーズへの対応で、受注～検収期間が長期化する案件も増加
- 海外市場向けの売上高・受注高はともに前期を上回る
 - ・売上高---アジア市場向けの需要増加
 - ・受注高---ペットフード向けの需要回復

II. 2012年7月期 決算概況

2012年7月期 決算のポイント

売上高
249百万円の減収

下半期の国内需要の落ち込み等

機械売上の減

保守消耗部品売上の増

+91

3,937

Δ340

12/7期

11/7期

経常利益増減要因(前期比)

204百万円の減益

(単位:百万円)

売上減少
による利益減

232

Δ66

総利益率低下
による利益減

Δ40

売上総利益

11/7期

高額案件で、
赤字及び低粗利が発生

販売促進費の増

Δ24

販売管理費

大型展示会費用の発生

業務委託費の増

Δ36

研究開発費の増

その他経費の増

Δ20

支払補償費・為替
差損の発生

営業外による利益減

Δ18

28

12/7期

期初予想; 増収・減益(積極的な戦略予算支出の計画)

減収により、大幅な減益

2012年7月期 決算概要

(単位:百万円、%)

	2011年7月期		2012年7月期		前期比増減		2012年7月期計画 (注)		
	金額	構成比	金額	構成比	金額	率	金額	計画比	率
売上高	3,937	100.0	3,687	100.0	△249	△6.3	3,800	△112	△3.0
売上総利益	1,042	26.5	936	25.4	△106	△10.2	983	△46	△4.7
営業利益	225	5.7	39	1.1	△185	△82.5	56	△16	△29.6
経常利益	232	5.9	28	0.8	△204	△87.9	60	△31	△53.0
当期純利益	138	3.5	7	0.2	△130	△94.4	30	△22	△74.0

(注)2012年3月6日第2四半期決算発表時の修正計画

減収・減益

- 高額案件の実績が減少したことから、売上高は前期比249百万円の減収。
修正計画に対しても、高額案件で複数の遅延が発生し、計画比112百万円減少。
- 高額案件で赤字及び低粗利の実績が発生したことから、売上総利益率は1.1ポイント低下。
売上総利益は、前期比106百万円減少。
- 販管費は、大型展示会費用の発生と研究開発費の増加により、前期比79百万円増加。
- 経常利益は、計画を下回り、前期比204百万円の減益。
- 当期純利益は、計画を下回り、前期比130百万円の減益。

品目別売上内訳

(単位:百万円、%)

	2011年7月期	2012年7月期	前期比増減		2012年7月期 計画 (注)
			金額	率	
給袋自動包装機	2,042	1,962	△80	△3.9	2,185
製袋自動包装機	408	316	△91	△22.5	315
包装関連機器等	530	361	△169	△31.9	400
保守消耗部品その他	955	1,047	+91	+9.5	900
合計	3,937	3,687	△249	△6.3	3,800

※給袋自動包装機は、ガス充填自動包装機を含む

(注)2012年3月6日第2四半期決算発表時の修正計画

前期比：△249百万円、△6.3%

機械売上高が大幅に減収。

- ・給袋自動包装機：▲80百万円・・・高価格機種の販売台数が減少
- ・製袋自動包装機：▲91百万円・・・高価格機種の販売台数が減少。
- ・包装関連機器等：▲169百万円・・・高額包装システムの実績が減少
- ・保守消耗部品その他：+91百万円・・・高額保守案件の受注件数が増加

機械売上
▲340

- ・機械売上高 計画比△259百万円・・・国内向けの減少と高額案件の繰越
- ・保守消耗部品 計画比+147百万円・・・高額案件と海外向けの増加

四半期売上高

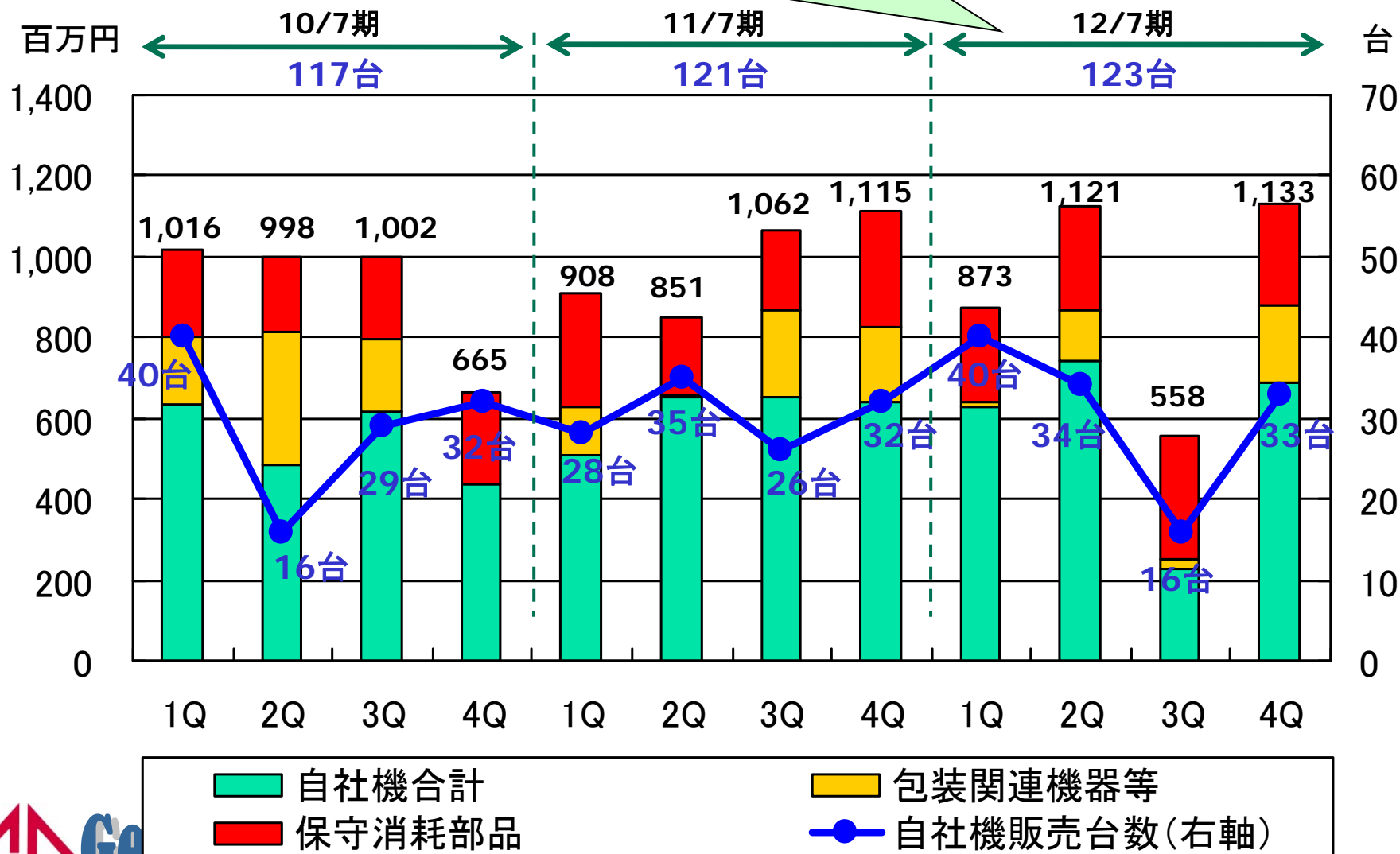
大型案件の有無、高額機種の販売台数により、
四半期売上高は大きく変動

12/7月期実績

自社機販売台数 前期比+2台

自社機売上高 前期比-171百万円

※(給袋自動包装機<ガス充填自動包装機含む>、製袋自動包装機の合計)



エンドユーザー業界別売上高

化学関連業界・その他の減少により、機械売上高は前期比11.4%減

百万円

2,500

2,000

1,500

1,000

500

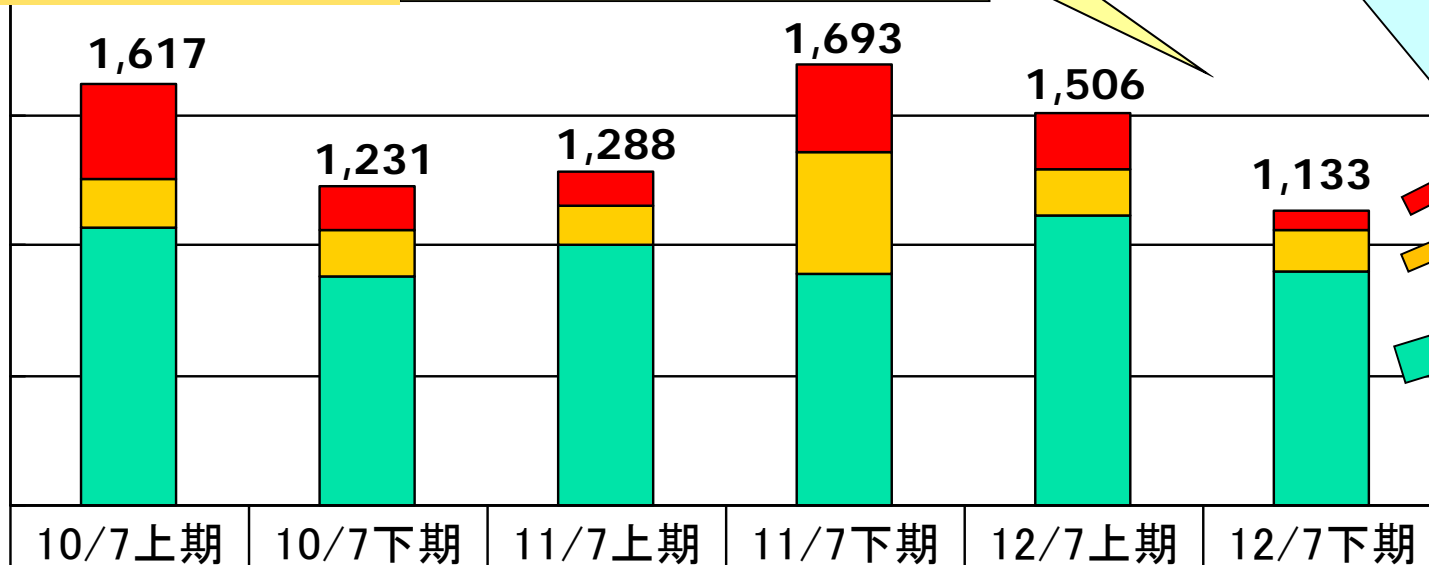
0

<化学関連業界>
医療分野、健康食品等
<その他>
ペットフード、種苗等

12/7期実績
食品業界
化学関連業界
その他

前期比 7.0%増
前期比 46.2%減
前期比 39.2%減

13/7上期見通し(12/7下期比)
各業界とも増加の見通し



	10/7上期	10/7下期	11/7上期	11/7下期	12/7上期	12/7下期
■ その他	365	176	135	331	212	70
■ 化学関連業界	180	178	153	474	175	162
■ 食品業界	1,071	876	999	887	1,118	900

(注) 売上高は、機械の売上高のみ

国内/海外市場別売上高

(エンユーザー市場)

12/7期実績	機械売上高	
国内市場	2,209百万円	前期比 -352百万円
海外市場	430百万円	前期比 +11百万円

百万円

2,500

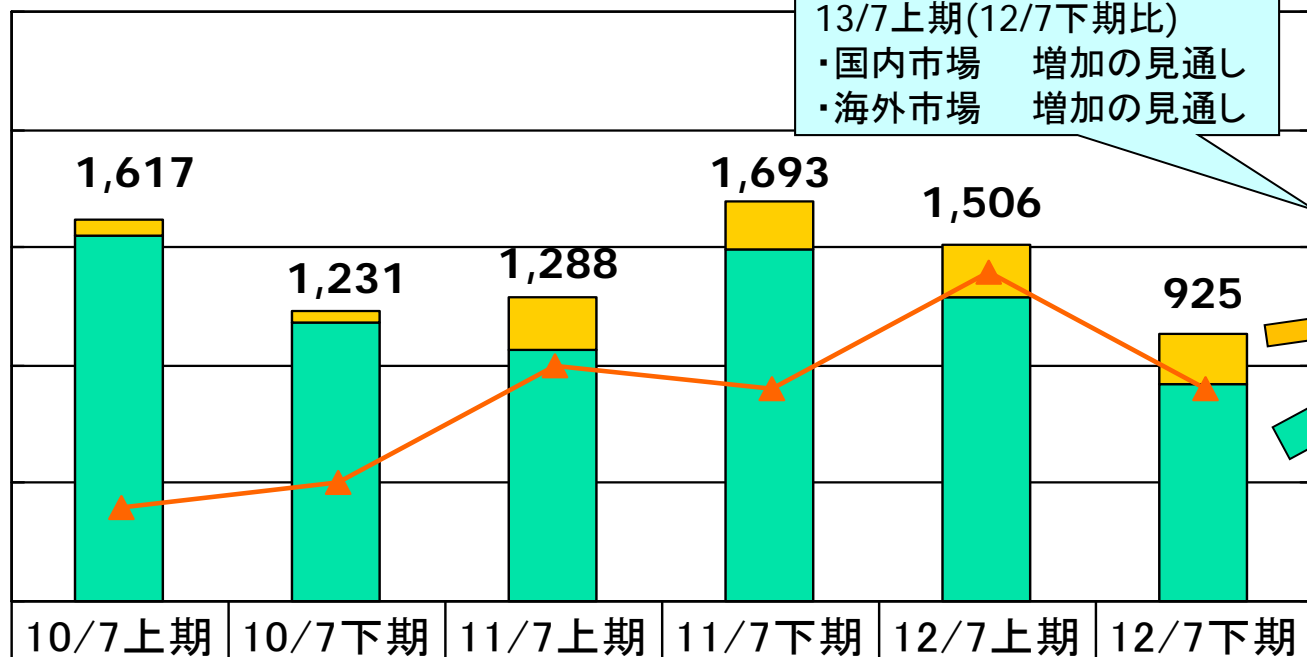
2,000

1,500

1,000

500

0



10/7上期

10/7下期

11/7上期

11/7下期

12/7上期

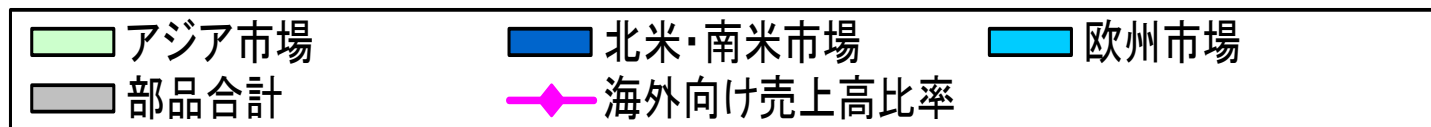
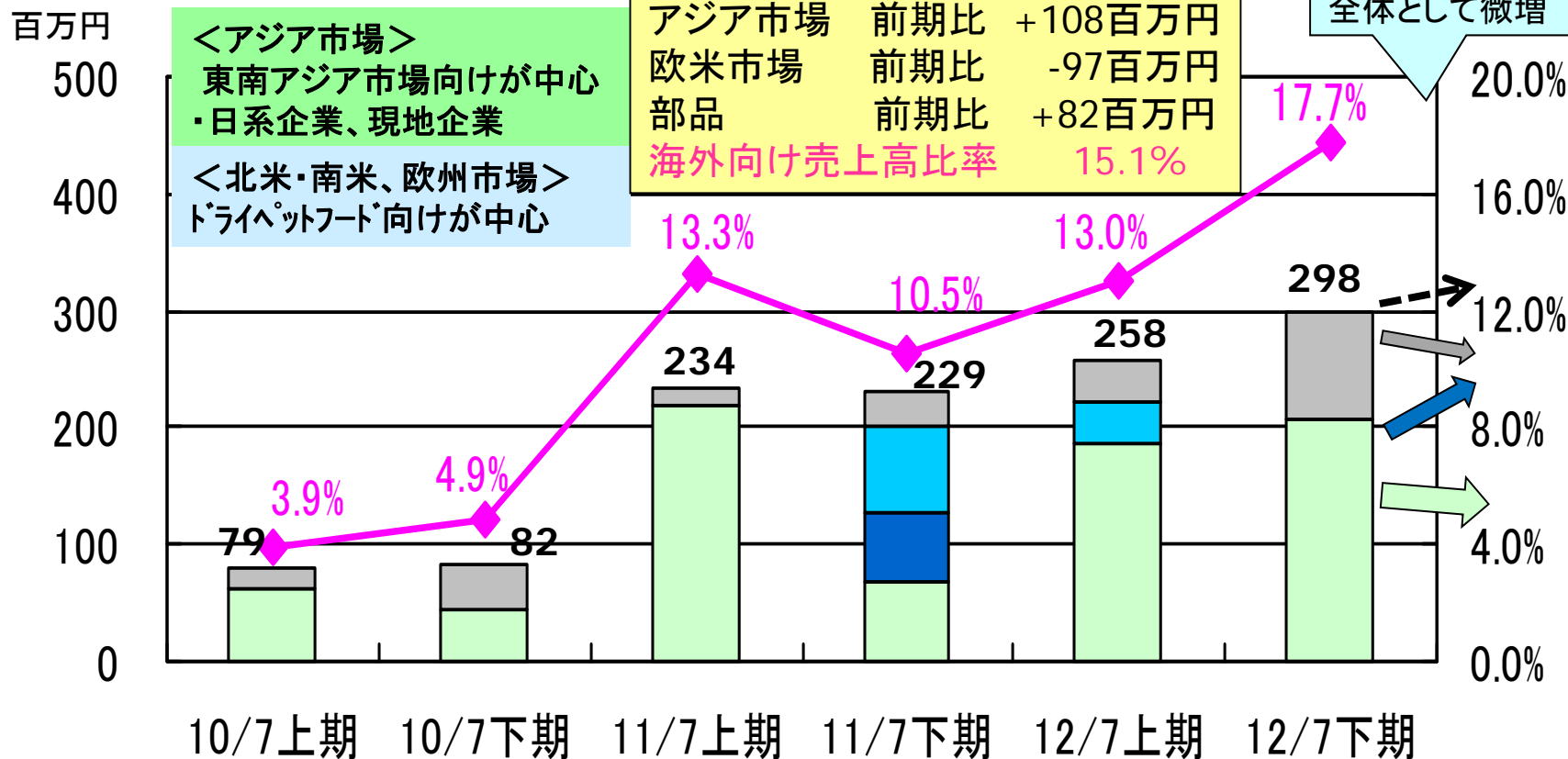
12/7下期

海外市場	63	44	217	201	223	207
国内市場	1,553	1,187	1,070	1,491	1,284	925
海外向け台数	4	5	10	9	14	9

(注)売上高は、機械の売上高のみ

海外市場向けの売上高

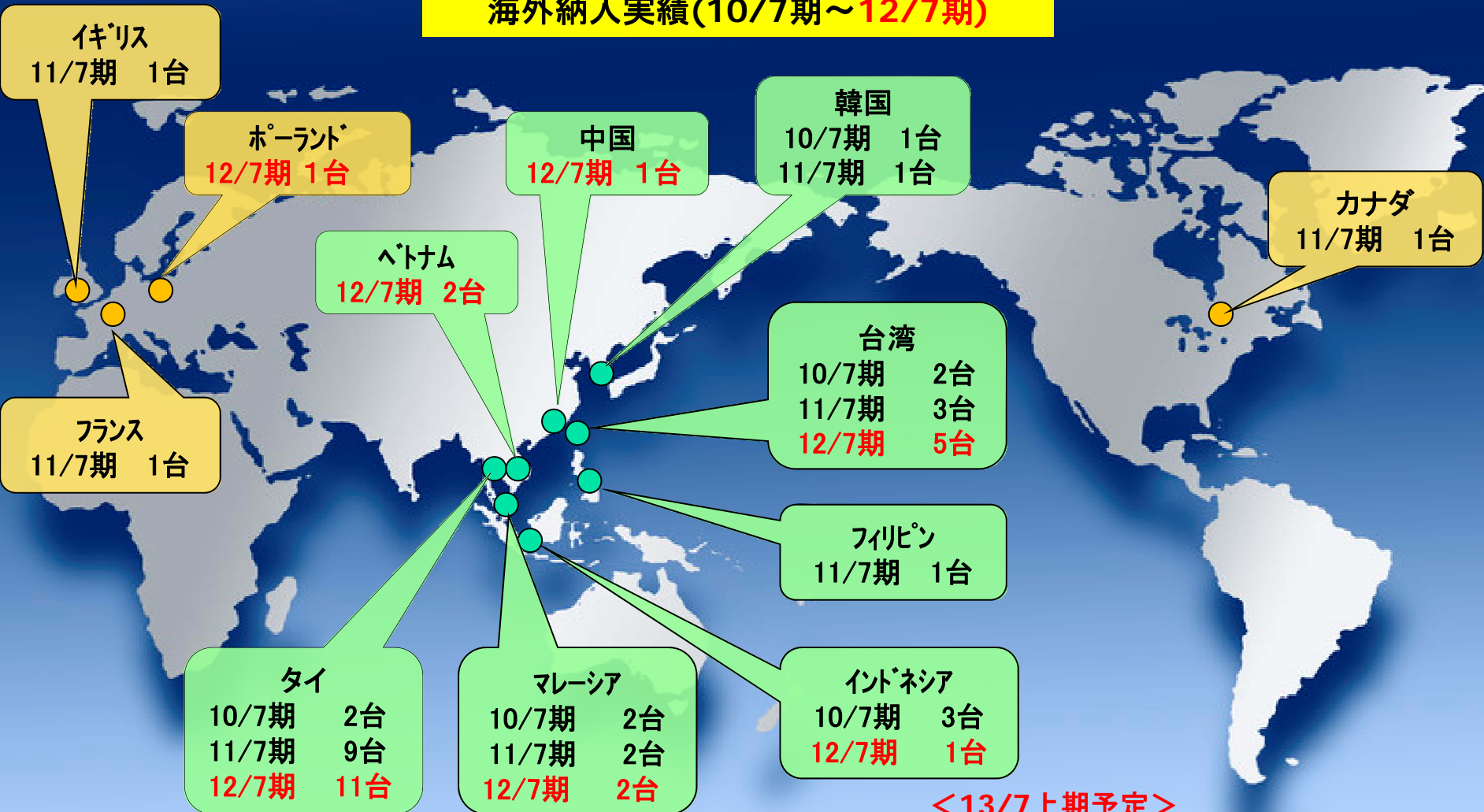
(エンドユーザー地域別)



※機械売上高;エンドユーザー地域別

海外市場向け 国別実績

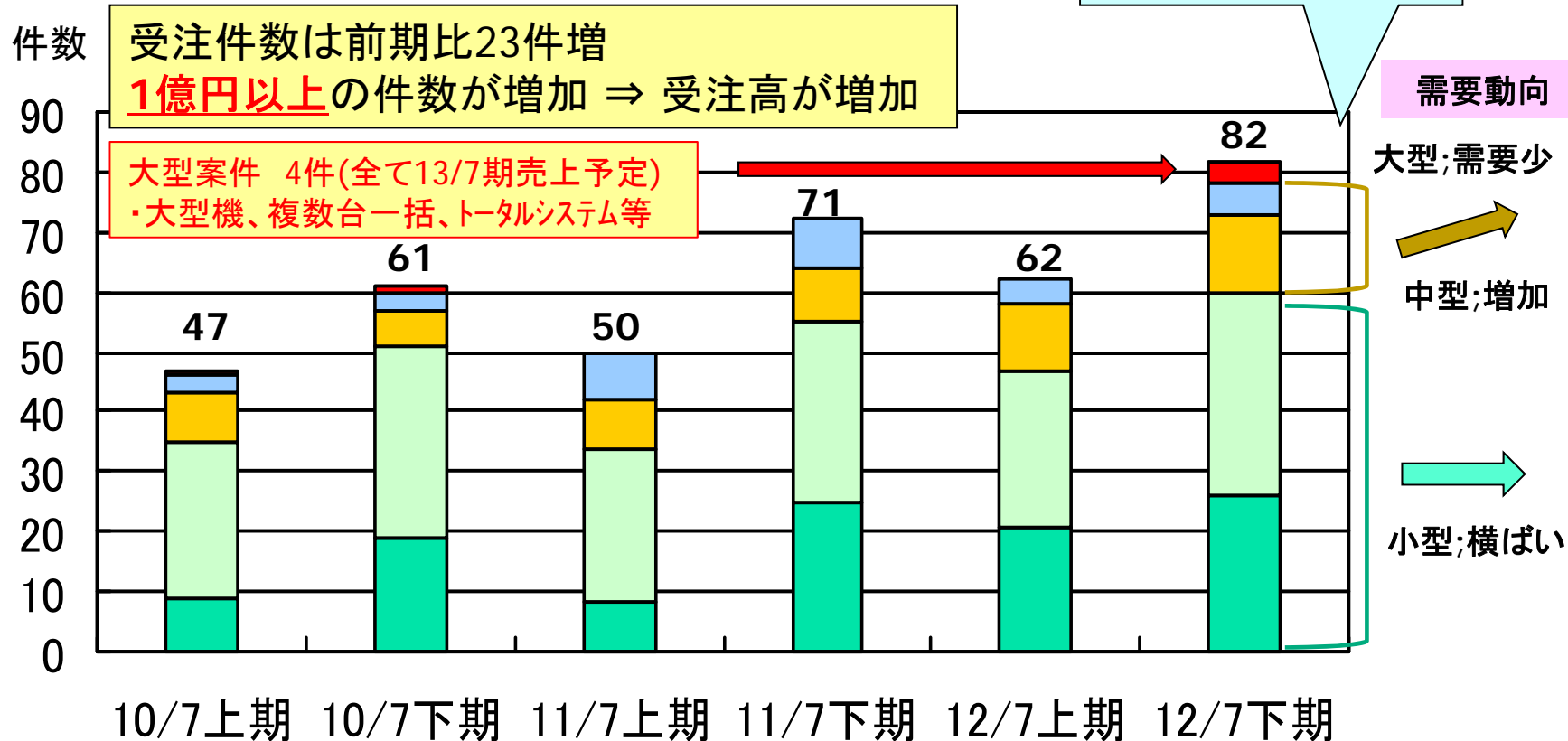
海外納入実績(10/7期～12/7期)



<13/7上期予定>
タイ、インドネシア、カナダ

機械の受注件数

<13/7上期計画>
中小型案件の受注増加
を目指す



1件当たりの
受注金額の層別

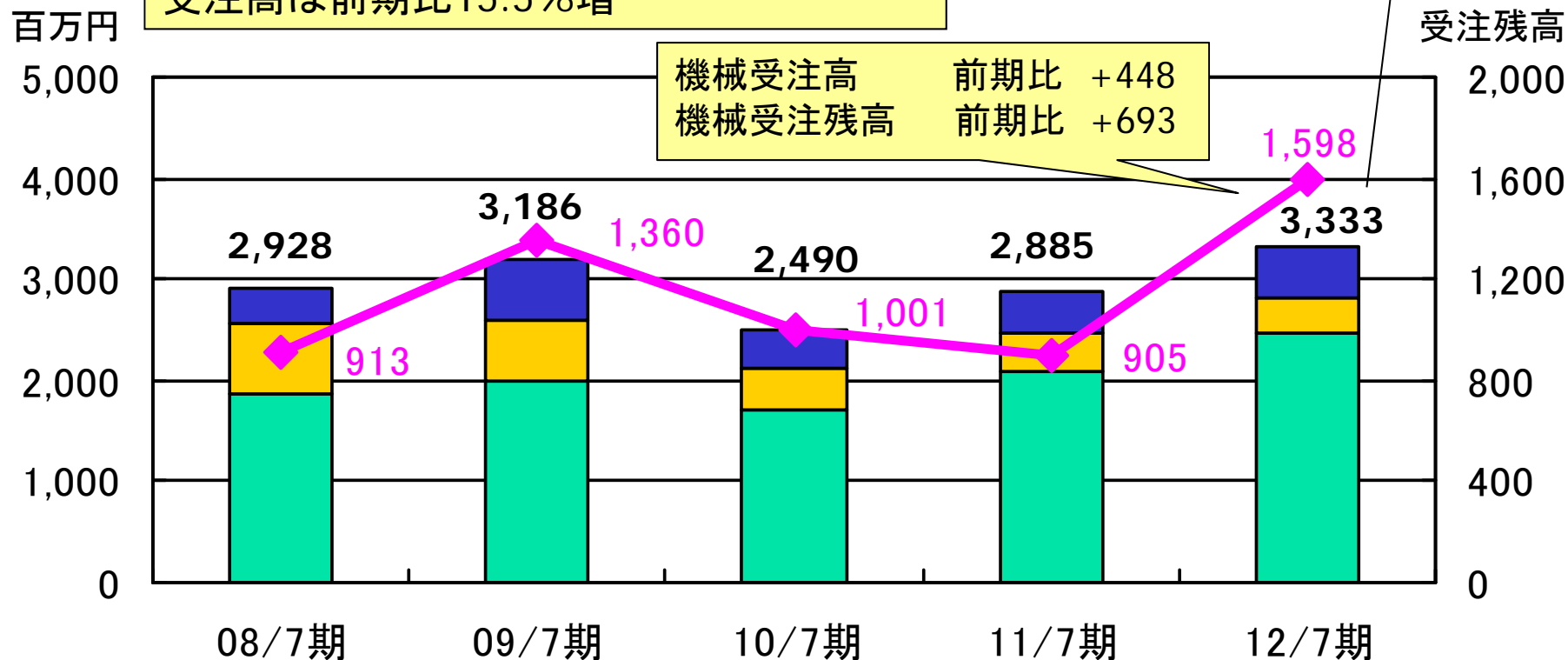


機械の受注動向

12/7期 四半期受注高

1Q	2Q	3Q	4Q
714	532	938	1,147

大型案件の受注件数が増加したことから、
受注高は前期比15.5%増



給袋自動包装机
包装関連機器等

製袋自動包装机

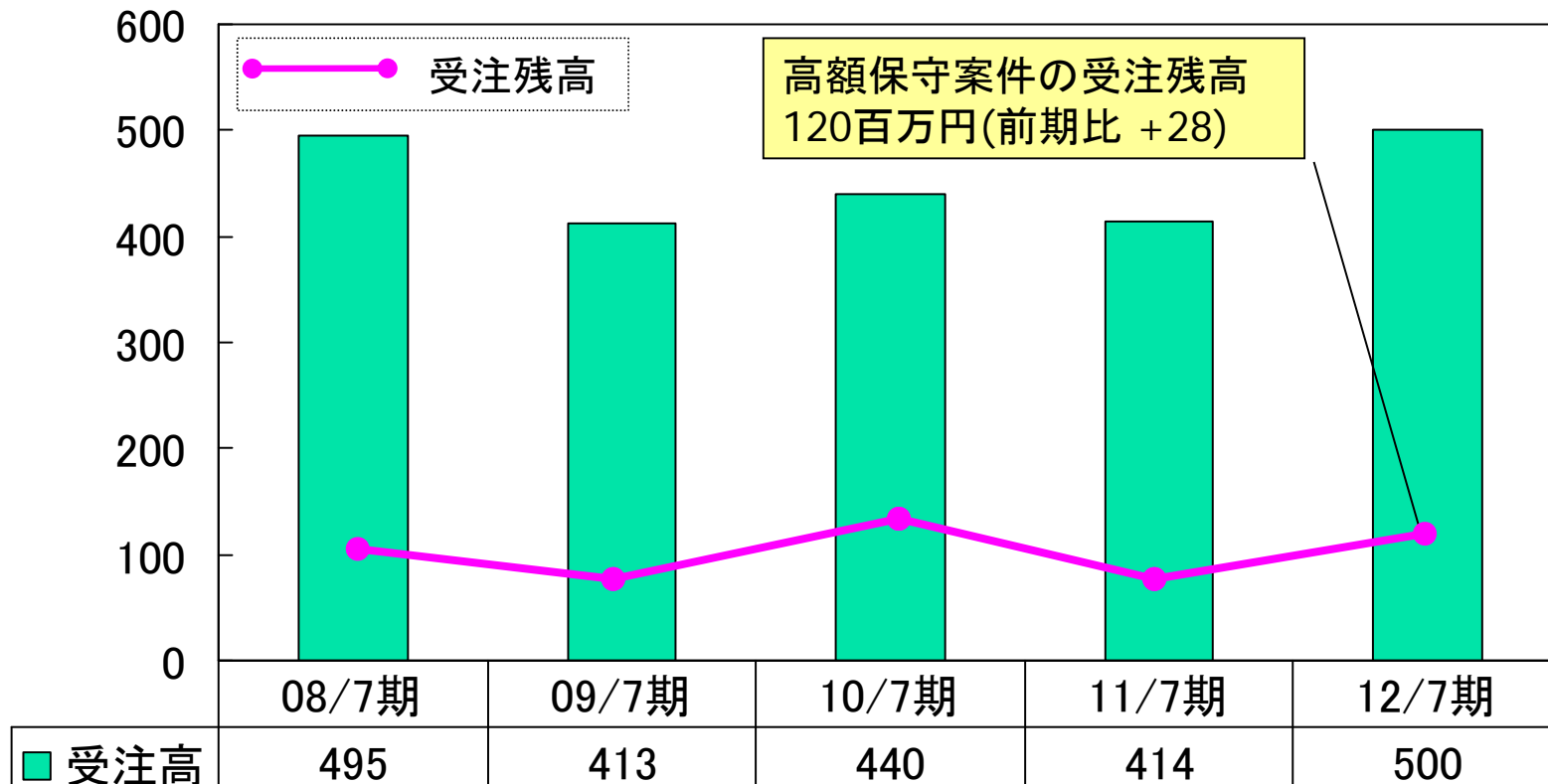
期末受注残高(右軸)

高額保守案件の受注高推移

高額保守案件: 百万円以上／件の保守・改造

百万円

海外納入機の10百万円超の改造案件が増加



注) 印字機・検査装置等の仕入機器の費用も含む

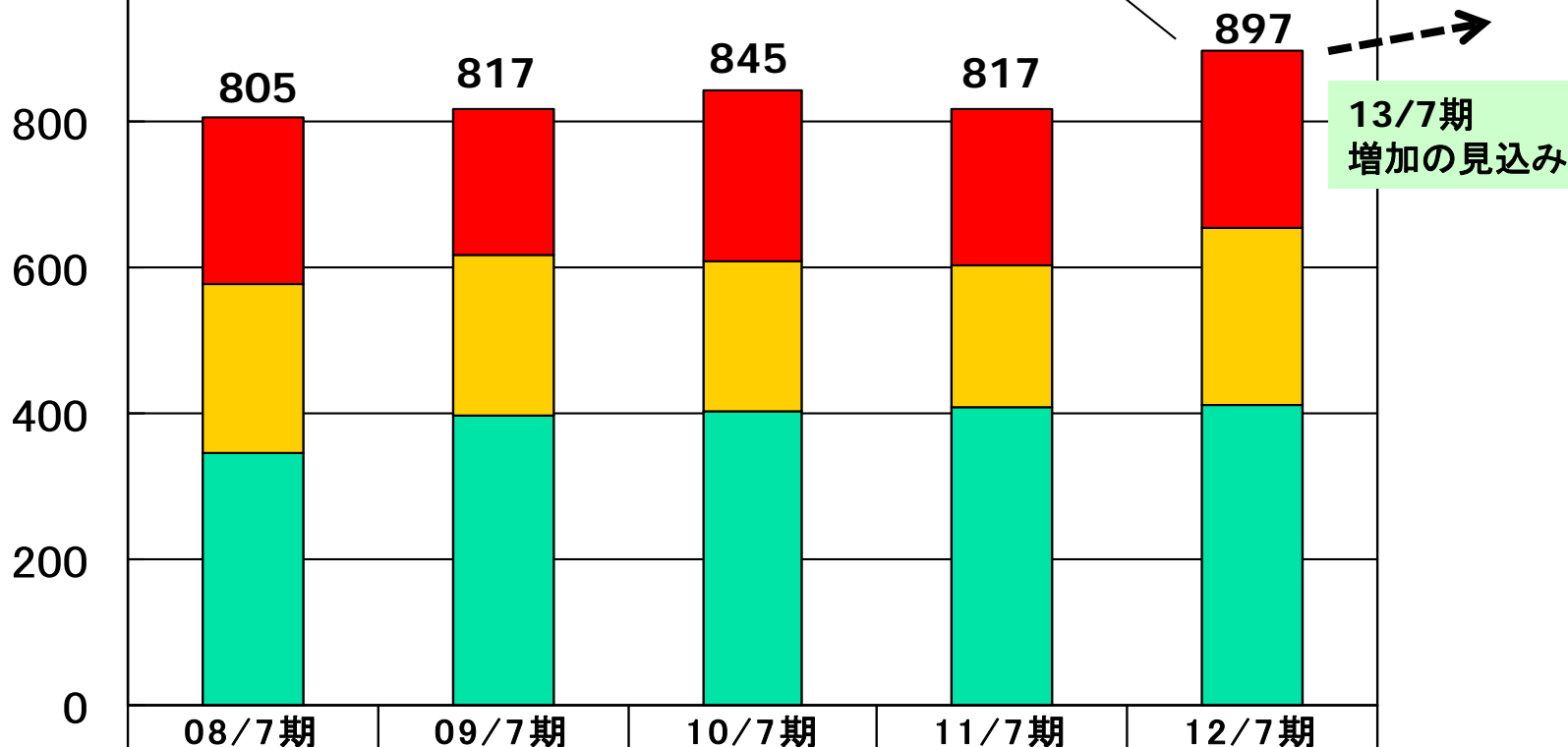
仕入機器の販売のみの場合は、包装関連機器等に計上

販売費及び一般管理費

展示会費用と研究開発費等の増加により、前期比9.7%増

百万円

1000



13/7期
増加の見込み

	08/7期	09/7期	10/7期	11/7期	12/7期
■ その他	228	200	235	214	243
■ 戦略経費	230	219	207	195	241
■ 人件費	347	398	402	408	412

(注) 戦略経費: 広告宣伝費、減価償却費、販売促進費、開発関連費、求人費、業務委託費等の合計

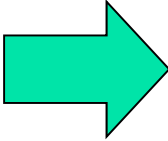
Ⅲ. 中期経営計画ならびに 2013年7月期業績見通し

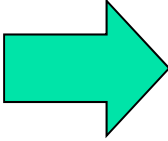
第3次中期経営計画(2012年7月期～2014年7月期)

◆中期経営ビジョン

1. 世界に信頼される包装機メーカー
2. 「なんとかしたい」にトップスピードで応えるトータルプランナー
3. 『創造と挑戦』のモノづくり企業

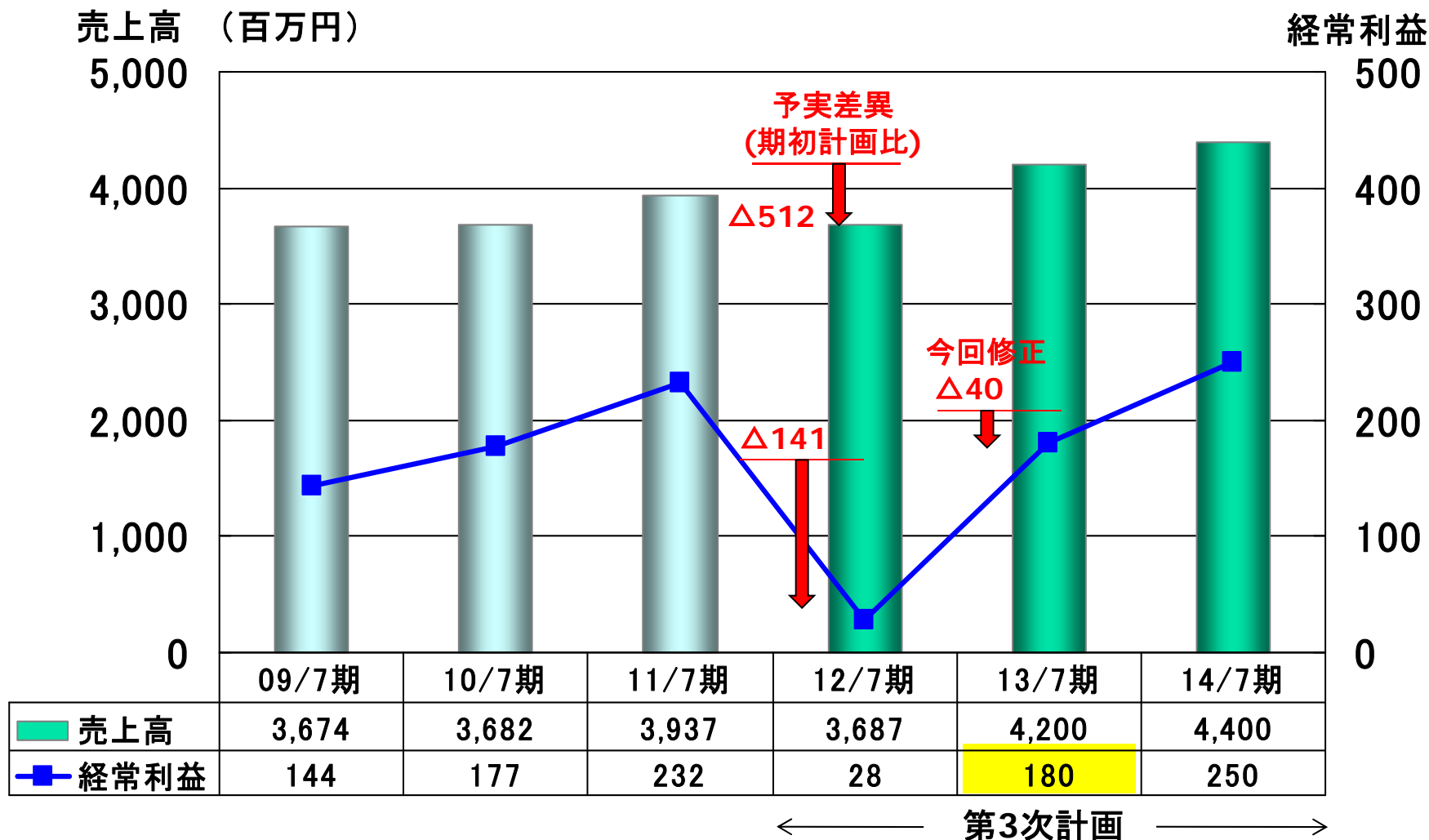
◆中期数値目標

	11/7期実績		14/7期目標
売上高経常利益率	5.9%		5.5%以上
ROA(総資産経常利益率)	5.3%		5.5%以上
ROE(自己資本当期純利益率)	4.9%		5.0%以上

	11/7期実績		14/7期目標
売上高	3,937百万円		4,400百万円
営業利益	225百万円		245百万円
経常利益	232百万円		250百万円
当期純利益	138百万円		150百万円

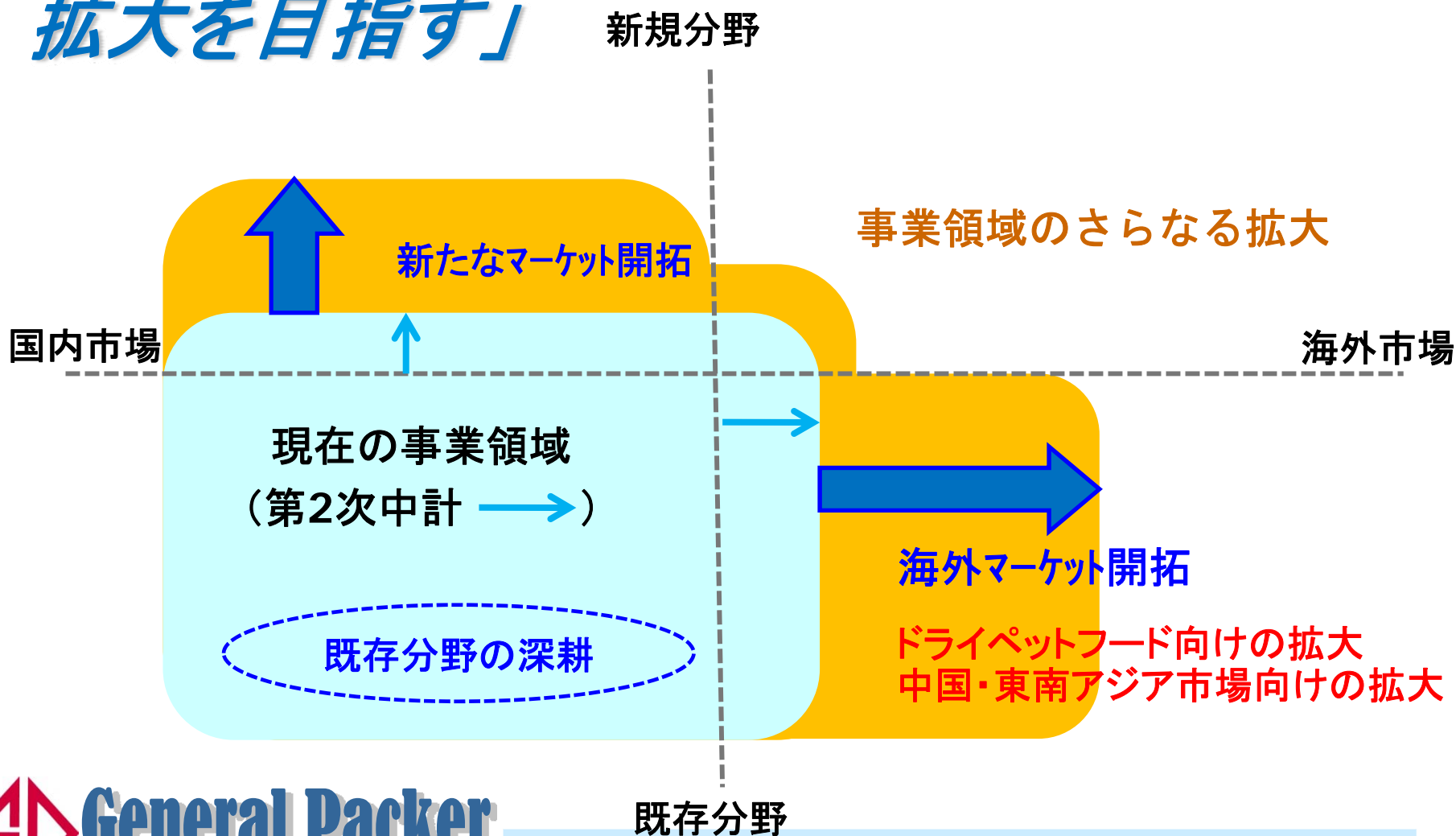
業績計画

当初計画より、研究開発費等の増加を予算化していることから、第2期の経常利益を下方修正



基本戦略

「持続的成長に向けて事業領域のさらなる拡大を目指す」



基本戦略

- ①顧客ニーズの積極的吸収と独創的な商品開発を推進し、ドライ分野のロータリー式自動包装機国内シェアNo.1を維持する
- ②安定的に海外市場向けの売上高比率15%以上の体制を目指す
- ③包装システムのトータルプランナーとしての提案力強化を図る
- ④事業領域拡大のための商品開発を強化する
- ⑤顧客が安心して生産活動できる包装機とサービスを提供する
- ⑥事業・技術提携も視野に入れながら、事業領域の拡大を推進する

事業計画モデル

売上高(単位:百万円)	11/7期実績	12/7期 期初予想	12/7期実績	予実差異 今後の見通し	13/7期計画
国内市場 (保守消耗部品含む)	3,474	3,500	3,129	<ul style="list-style-type: none"> ・下期の需要が低迷 ・回復の見通し、大型案件が寄与 	3,500
内・トータルシステム	534	700	491	<ul style="list-style-type: none"> ・高額システムの需要が減少 ・増加の見通し 	700
海外市場 (海外部品含む)	463	700	557	<ul style="list-style-type: none"> ・ペットフード向けで投資計画延期が発生 ・ペットフード向けが増加、アジア向けの需要は堅調の見通し 	700
	3,937	4,200	3,687		4,200

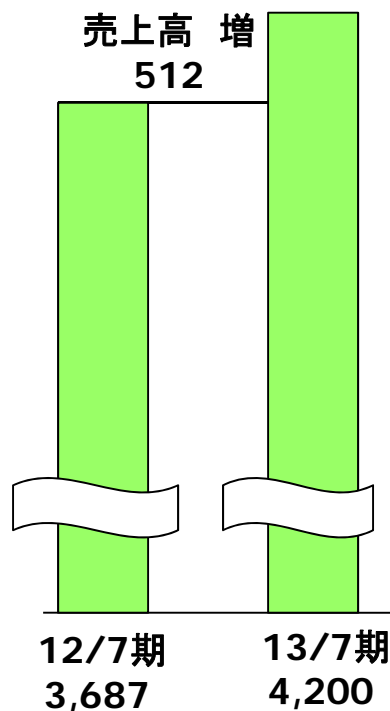
2013年7月期 業績見通し(概要)

機械受注残高 前期比+693
高額保守受注残高 前期比 +28

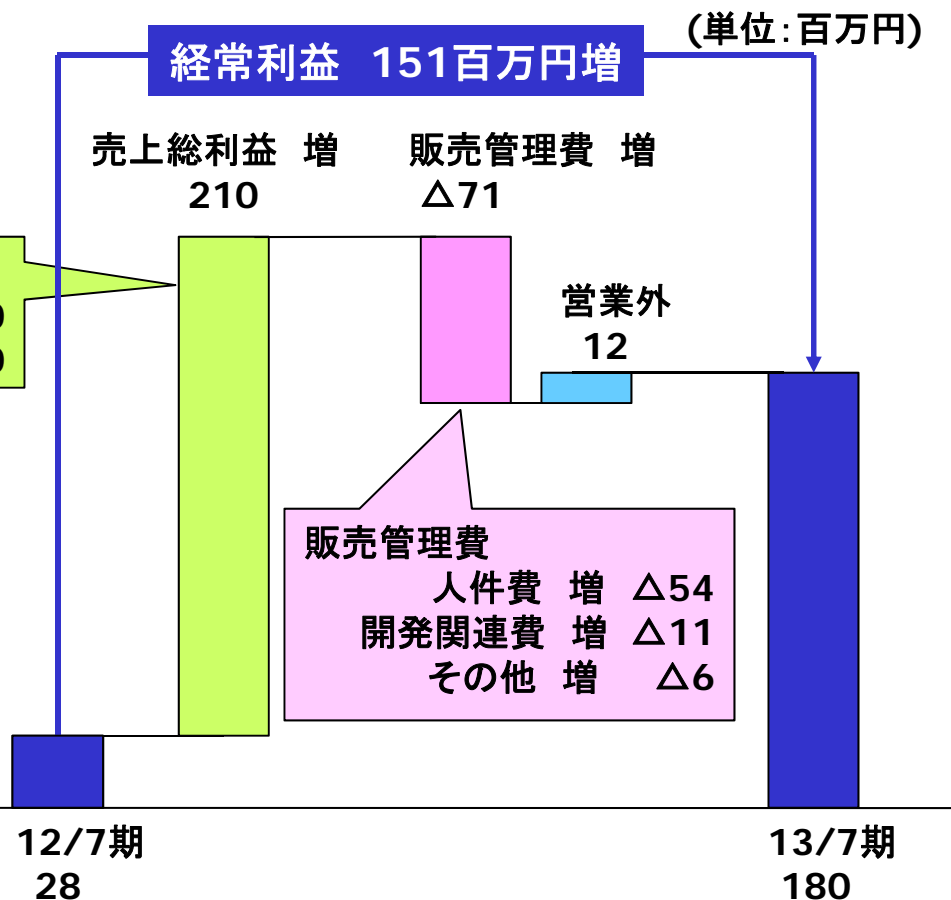
高水準の受注残高により、増収・増益の見通し

需要動向

- ・中小型案件は堅調
- ・保守消耗部品の減収が想定される



売上総利益
増収効果 140
利益率改善 70



2013年7月期業績予想

(単位:百万円、%)

	2012年7月期		2013年7月期		前期比	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	率
売上高	3,687	100.0	4,200	100.0	+512	+13.9
売上総利益	936	25.4	1,147	27.3	+210	+22.5
営業利益	39	1.1	178	4.3	+139	+353.5
経常利益	28	0.8	180	4.3	+151	+538.5
当期純利益	7	0.2	105	2.5	+97	+1247.4

増収・増益

- 販売台数が増加、また大型案件の増加(受注残4件)が寄与
主な取組み:新機種 of 納入・拡販と海外向け売上高の増加
- 売上高は前期比13.9%増の42億円を見込む
- 総利益率は、前期比1.9ポイント改善し27.3%
主な取組み:新機種 of 収益確保と高価格機種 of 粗利益向上
- 販管費は、人件費及び研究開発費などの増加により前期比8.0%増加
- 営業利益率は前期比3.2ポイント改善し4.3%
- 当期純利益は、前期比97百万円増の105百万円を計画

2013年7月期品目別売上予想

(単位:百万円、%)

	2012年7月期		2013年7月期		前期比	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	率
給袋自動包装機	1,962	53.2	2,622	62.4	+659	+33.6
製袋自動包装機	316	8.6	413	9.8	+96	+30.4
包装関連機器等	361	9.8	365	8.7	+3	+1.0
保守消耗部品その他	1,047	28.4	800	19.0	△247	△23.6
合計	3,687	100.0	4,200	100.0	+512	+13.9

※給袋自動包装機は、ガス充填自動包装機を含む

品目別売上高見通し

前期比：+512万円、+13.9%

機械売上高が760百万円程度増加、特に給袋自動包装機の増加が寄与。

- 給袋自動包装機:2,622(前期比+659百万円)・・・大型案件の増加と新機種の販売効果
- 製袋自動包装機:413(前期比+96百万円)・・・販売台数の増加
- 包装関連機器等:365(前期比+3百万円)・・・横ばい
- 保守消耗部品その他:800(前期比▲247百万円)・・・高額件数の減少

IV. 経営戦略の主な取組み状況

経営戦略の取組み状況

第1期(2012年7月期)のトピックス

■海外販売体制の強化

- ・海外営業部新設(2011/10月)

■(株)ワイ・イー・データと資本業務提携(2012/1月)

- ・連携して商品開発、販売促進活動、海外市場開拓等を推進中

■積極的な広告宣伝・販売促進活動

- ・展示会出展を強化――過去最高の出展頻度
 - ①大型出展 国内 2回(2011/10月、2012/4月)
 - ②小規模出展 国内 2回、海外(上海) 1回

■事業領域拡大のための商品開発

- ・新たなマーケット向け 2機種を完成・売上(計3台)

販売戦略

新規顧客開拓の強化

■新規顧客・販路開拓の実績

※新たなマーケット:新方式包装機による開拓含む

受注実績ベース	10/7期	11/7期	12/7期
新規顧客開拓数	32社	32社	25社
既存分野 (業種)	24社 食品、健康食品、製薬等	24社 食品、健康食品、肥料等	19社 食品、健康食品、医療等
新たなマーケット (業種)	3社 製本、青果	2社 自動車部品、造幣	2社 酒造、海苔
海外マーケット (業種)	5社 食品	6社 食品、ペットフード	4社 食品、ペットフード
新規販路開拓数	2社	2社	1社

新規開発案件へ

■今後の主な取組み

- ネットPRの継続強化
- 新たなマーケット・海外マーケットへの企画提案営業の強化

販売戦略

海外マーケット開拓

■機械受注実績

	10/7期	11/7期	12/7期
機械受注高	189百万円	445百万円	543百万円
受注台数	9台	22台	22台
輸出国	タイ、台湾、マレーシア、 インドネシア 等	タイ、台湾、マレーシア、 カナダ、イギリス 等	タイ、台湾、マレーシア、 ポーランド、カナダ等

アジア市場向け、
ペットフード向け
ともに増加

※水洗い対応包装機(09/7期開発;海外開拓用機種)の受注が好調
10/7期 0台 : 11/7期 3台 : 12/7期 7台

■保守関連の高額受注(5百万円超)

- ・タイ洪水被害に伴う顧客企業の包装機復旧作業
- ・ペットフード用包装機の追加装置据付、改造 等

12/7期実績
7件 82百万円
11/7期は実績無し

■今後の主な取組み

- 中国・東南アジア市場ニーズの把握
- 多角的な販売ルートの開拓

開発・技術戦略

■ 開発機種数・研究開発費

第3次中計 毎期 3機種以上へ

	10/7期	11/7期	12/7期
開発機種数	2	2	3
研究開発費(百万円)	124	137	163

研究開発投資を増加

シーズとニーズの両面からの開発を推進中

■ 開発実績・計画(現在進行中の案件)

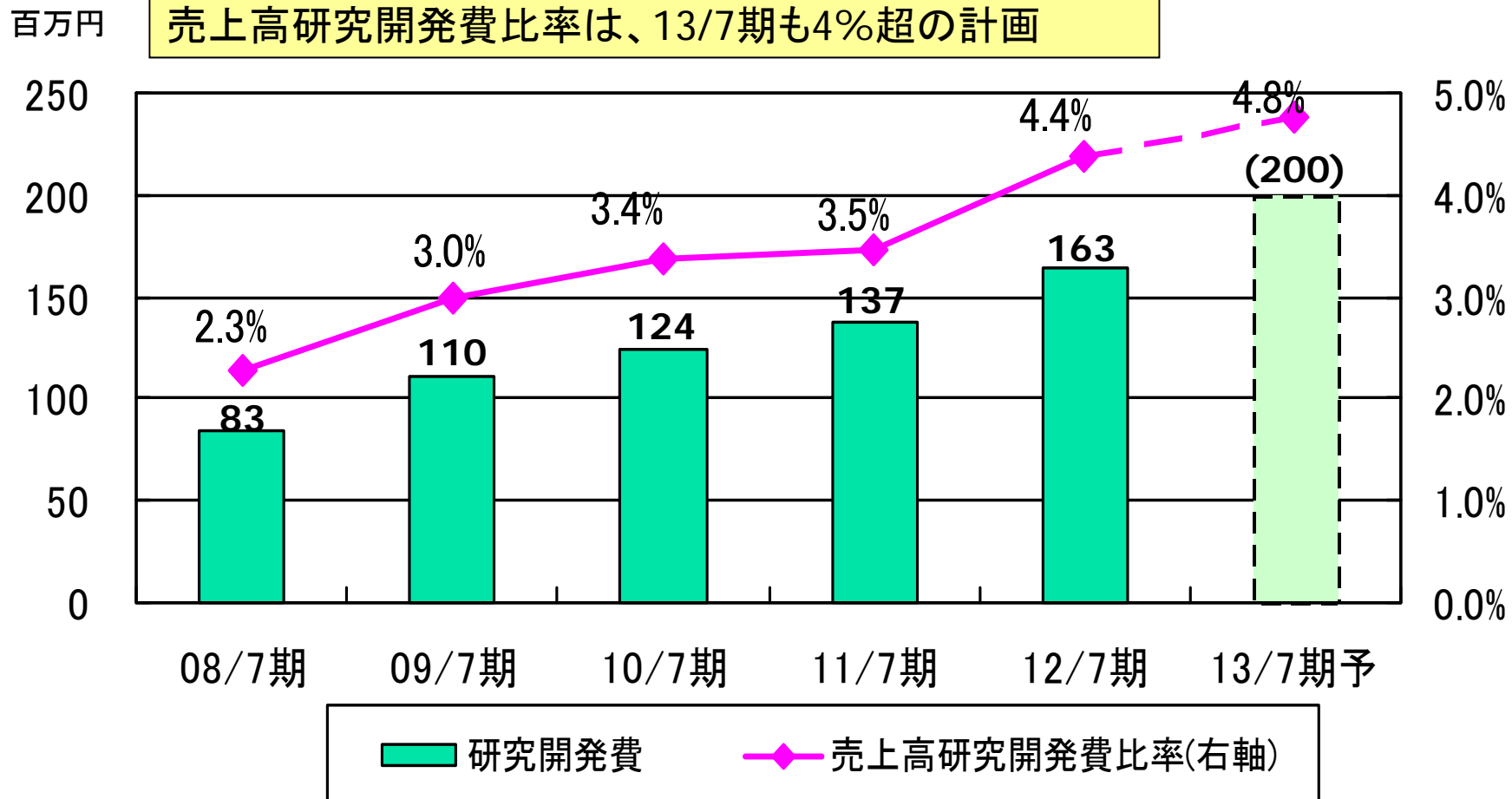
開発件数は過去最高ペース

12/7期実績 (売上; 計4台)	既存分野向け 1機種	製粉
	新たなマーケット向け 2機種	酒造、海苔
13/7期上期計画 (完成・売上予定)	既存分野向け 4機種	食品全般、鯉節、製菓
	新たなマーケット向け 1機種	食品
	海外マーケット向け 1機種	ペットフード

収益の確保と2号機以降の拡販

研究開発費

開発部人員の強化、開発テーマの増加等により、
売上高研究開発費比率は、13/7期も4%超の計画



※研究開発費の内訳; 約5割が人件費

V. 參考資料

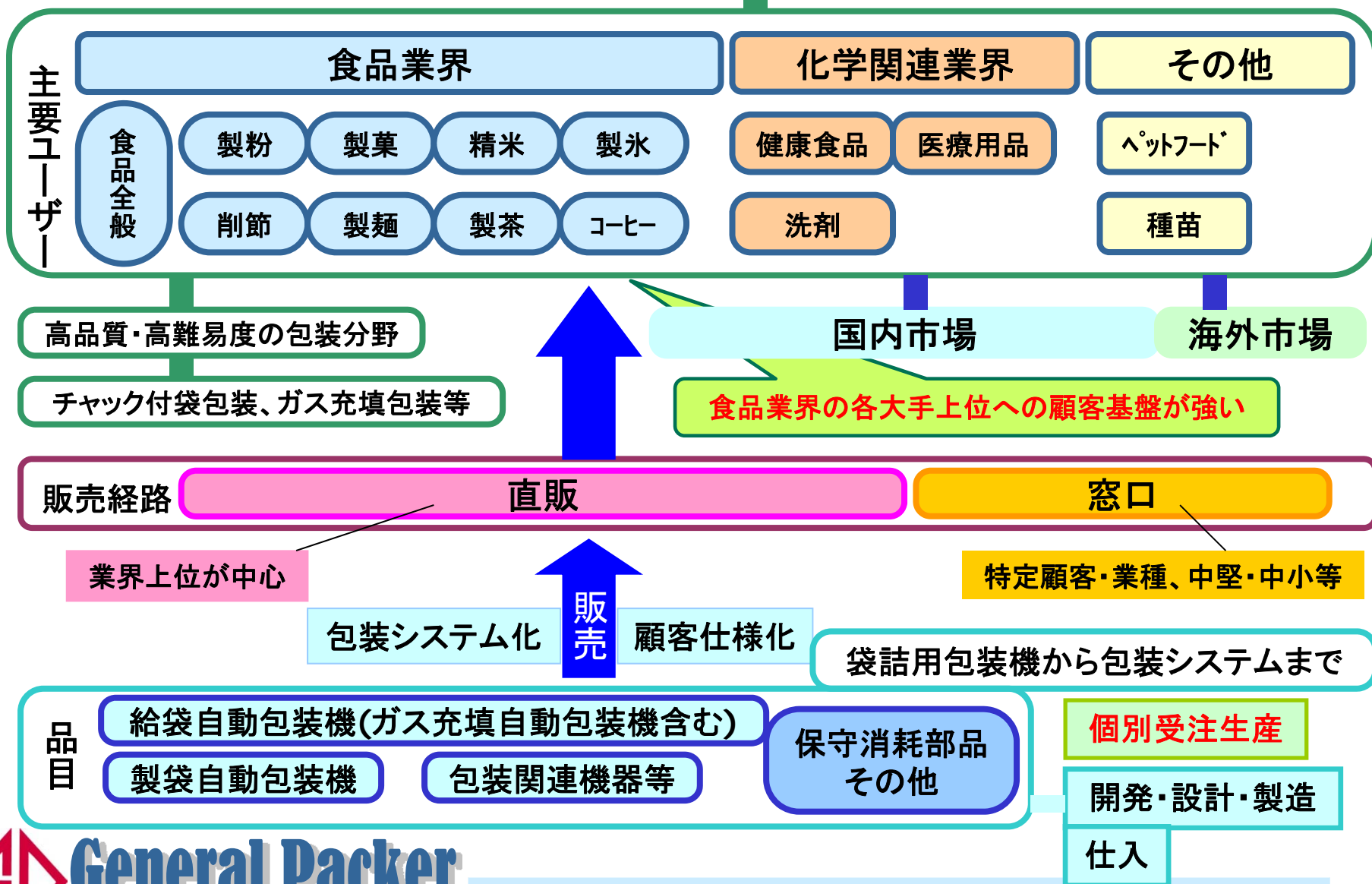
会社概要(2012年7月31日現在)

- 設立 1966年(創業 1961年)
- 資本金 251百万円
- 発行済株式数 8,994千株
- 売買単位 1,000株
- 決算期 7月末
- 事業内容 各種自動包装機の製造・販売
(食品・化学品・健康食品・医療用品等の包装用機械・システム)
- 従業員数 123名(その他臨時雇用者18名)
- 事業所 本社・工場、東京営業部

証券コード;6267
JASDAQ・名証二部

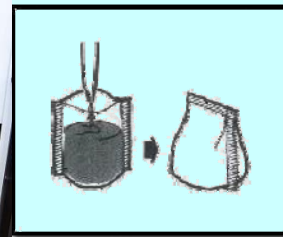
事業内容

主要市場:ドライ物(粉末・顆粒・固形物等)の包装用機械・システム



品目内容

対象物(粉末・顆粒・固形物等)
を袋に充填して包装する機械



袋詰用包装機

給袋自動包装機

袋



給袋装置

充填・包装装置

菓子類、小麦粉、食品類、調味料、ペットフード、健康食品、医療用品、肥料、粉末薬品、電子部品等の袋詰用包装機。多品種少量生産向け。

ガス充填自動包装機

袋



給袋装置

充填・包装・ガス充填装置

花かつお、ナッツ類等の袋詰用包装機。

製袋自動包装機

フィルム



製袋装置

充填・包装装置

充填物は給袋自動包装機と同様。小袋の高速包装から大袋包装まで。フィルムから袋を作りながら包装する機械。

包装関連機器等

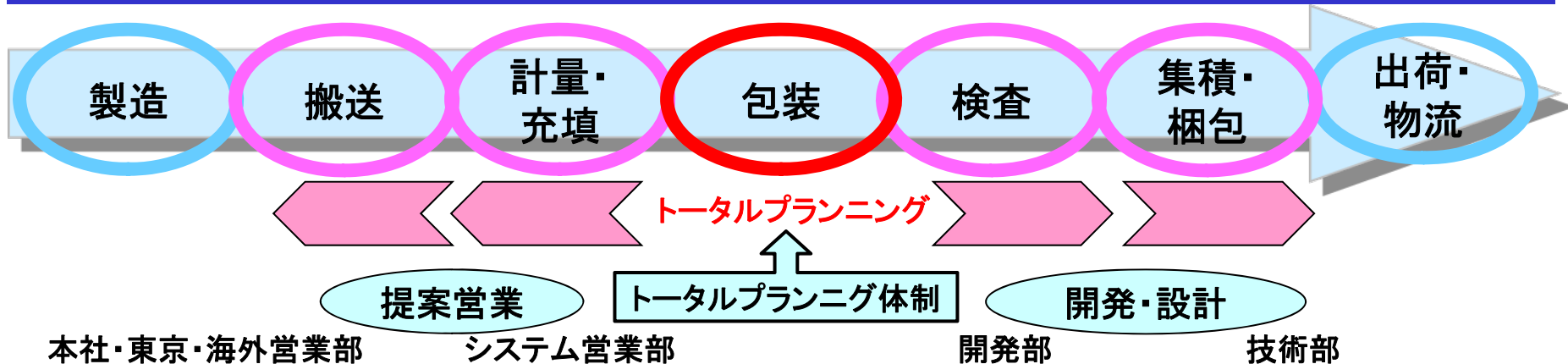
付帯機器(充填機、計量機、計数機、印字機等)、段ボールケーサー、各種包装システム等

保守消耗部品その他

当社販売機械の保守、修理・交換用部品、印字機、検査装置等の取付・改造等

(経営ビジョン)

「なんとかしたい」にトップスピードで応えるトータルプランナー



『創造と挑戦』のものづくり企業

人員推移

	07/7期末	08/7期末	09/7期末	10/7期末	11/7期末	12/7期末
従業員	101	106	109	114	119	123
(内 開発・技術部人員)	(24)	(26)	(27)	(28)	(32)	(34)
臨時雇用者※	22	21	25	24	21	18
合計	123	127	134	138	140	141

※パート、嘱託、派遣

従業員平均年齢	34.9歳	35.4歳
---------	-------	-------

企業ビジョン

- 「社会・株主・顧客・取引先・従業員の全てに対し、誠実で透明性の高い経営を実践し、信頼され、支援される企業」の実現



株主還元

中期配当政策

- 株主の皆様への積極的な利益還元を図ることを基本方針として、配当性向50%または純資産配当率(DOE)2%を目安に、安定配当を堅持しつつ、業績動向を見ながら配当金の増加を目指す。

	2010/7期	2011/7期	2012/7期	2013/7期予想
中間配当	3.50円	3.50円	3.50円	3.50円
期末配当	3.50円	4.50円 (記念配当1円)	3.50円	3.50円
年間配当	7円	8円	7円	7円
当期純利益／株	11.84円	15.83円	0.88円	11.85円
配当性向	59.0%	50.5%	—	59.1%
DOE	2.2%	2.4%	2.2%	2.2%

包装システムの市場創造型トータルプランナー ゼネラルパッカー株式会社

当資料取り扱い上の注意点

当資料には将来見通しが含まれております。将来見通しは現在入手可能な情報から得られた当社の経営者の判断に基づいております。この将来見通しは仮定または仮定に基づく根拠が含まれており、環境によっては想定された事実や根拠は実際の結果とは異なる場合があります。当社または当社の経営者は将来の結果についての期待または確信を述べていますが、その期待や確信、あるいはそれに近い結果が実際に達成されるという保証はありません。また法令上、別途の定めがある場合を除き、当社はいかなる将来見通しも最新のものとする義務を負っておりません。

【IR窓口】 経営企画室 長谷川

〒481-8601

愛知県北名古屋市宇福寺神明65

電話:0568-23-3111

FAX:0568-22-3222

E-mail:info@general-packer.co.jp

